



## 札幌のでんでんむし『サッポロマイマイ』

“サッポロ”の名前がつくカタツムリがいるのを知っていますか。その名もなんと『サッポロマイマイ』といいます。

サッポロマイマイは、どのようなカタツムリなのでしょう。そもそも、“カタツムリ”や“でんでんむし”とは、陸にすむ巻貝であるマイマイの仲間を指す呼び名です。サッポロマイマイもオナジマイマイ科マイマイ属に含まれます。

見た目の特徴は、殻に茶色の帯が3本あります。しかし、3番目の帯はおへそのようにへこんでいる方にあるため、ひっくり返さないと見ることはできません。ですから、真上からみると1本の渦巻きに、横からみると2本の帯を巻いているように見えます(写真)。帯の幅は3～4mmで、札幌周辺で見られるカタツムリのなかで、いちばんはっきりした渦巻き模様をしています。また、軟体部にもしま模様があるものが多いようです。

ミュージズレター29号を見た方から「我が家の庭の訪問者もサッポロマイマイでは？」と連絡をいた

だき、写真を見せてもらおうと、それは帯模様が美しくあらわれたエゾマイマイでした。札幌周辺に暮らす主なカタツムリは種類数、個体数ともに本州以南とくらべると少ないようですが、サッポロマイマイ、エゾマイマイ、ヒメマイマイなどがあります。みなさんの自宅の庭や近所の公園で暮らすカタツムリはどれでしょうか？次ページの図を参考に、渦巻き模様や殻の形を調べてみてください。

活動センターにサッポロマイマイがやってきてから1年間、飼育を担当してじっくり観察してきましたが、本や図鑑だけでは気がつかない不思議なこと、おもしろいことが次々とでてきました。これからは札幌のカタツムリの「暮らしぶり」を観察して、みなさんにお伝えしていきたいと思います。

(相馬)

※カタツムリを触ったら必ず手を洗いましょう。

### 【参考図書】

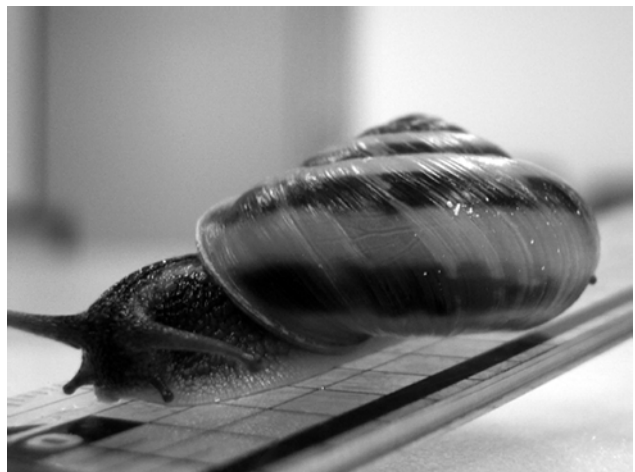
「科学のアルバム56カタツムリ」写真：増田 辰樹、文：小池 康之（あかね書房）

「陸産貝類の観察と研究」湊 宏（ニューサイエンス社）

「原色日本陸産貝類図鑑」東 正雄（保育社）



▲ サッポロマイマイ (左：上から見た写真 右：横から見た写真)



(次ページにつづく)